

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価対象事業	環境 - 01	環境運営事業	☐ 法定受託事務
所管課	環境部 環境政策課		評価者 環境政策課担当課長 竹之内 直美
一般	会計	款 20	項 10
目 5			
総合計画上の位置付け	分野名	生活環境	施策の方針名 3 Rの推進・ごみの適正処理

1 事業の目的

対象	市民等	意図	一般廃棄物処理施設を中長期的に整備し、3 R事業を総合的かつ計画的に推進することにより、快適な生活環境の創造と循環型社会の形成を目指すため。
効果	安定的な一般廃棄物の処理と、3 R事業を推進することにより、循環型社会が形成される。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業（事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	・一般廃棄物処理施設建設基金の積み立て ・関係団体への負担金支出	・一般廃棄物処理施設建設基金の積み立て ・関係団体への負担金支出	・一般廃棄物処理施設建設基金の積み立て ・関係団体への負担金支出
予算額（千円）	10,593	12,042	
国県支出金			
地方債			
その他	10,332	11,781	
一般財源	261	261	0
当初人員配置数	3.0	2.0	0.0
人件費（千円）	18,455	10,312	0
事業実績	・一般廃棄物処理施設建設基金の積み立て ・関係団体への負担金支出		
決算額（千円）	13,210		
国県支出金			
地方債			
その他	11,948		
一般財源	1,262	0	0
人員配置実績数	3.0	0.0	0.0
人件費（千円）	17,947	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
						（上段実績、下段経費（千円））		
活1	指標名							
	実績につながる活動							

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	・活動結果指標（アウトプット）の実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	・目標設定に馴染まず、評価できない

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No （最大3つ）
成1								

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	基金の適切な運用を行う事業であり、目標設定に馴染まず、成果指標を設定できない。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	■ 増えている	□ 変わらない	□ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	■ 市	□ 国・県	□ 民間事業者 □ なし
	有効性	事業の成果	■ 十分に出ている	□ 概ね出ている	□ 出していない
	効率性	事業費削減余地	□ ある	■ なし	
		関連・類似事業との統合	□ できる	■ できない	
方向性	公平性	受益者負担	□ 導入済	□ 導入予定	■ 導入できない
	評価実施年度の方向性 ⇒		評価実施翌年度以降の方向性		
	事業内容の方向性	■ 事業内容は現状通り	■ ① 事業内容は現状通りとする		
		□ 事業内容は見直し済	⇒ □ ② 事業内容は見直す	→ □ 拡大	□ 縮小 □ その他
		□ 事業を休止又は廃止済	⇒ □ ③ 事業は休止又は廃止する		
		□ 他事業と統合済	□ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する	→	事業へ統合
方向性	予算規模の方向性	■ 予算規模は現状維持	■ ④ 予算規模は現状維持とする		
		□ 予算規模は拡大済	⇒ □ ⑤ 予算規模は拡大する		
		□ 予算規模を縮小済	□ ⑥ 予算規模は縮小する		

今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応	結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果	前年度は新たな課題なし		
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題	新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性	新たに認識された課題はなかったため検討なし		
	総評	・安定的なごみ処理体制の構築を目指して名越中継施設整備を着実にすすめるため、基金にかかる事務を適正に行った。 ・工事費の増加が著しく、基金の重要性が高まっている。令和7年度から工事費に繰り入れを行っており、一般廃棄物処理施設の建設推進に貢献している。		上位施策への寄与度 A

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	使途が明確な基金を運用する事業であり、事情の異なる他市と比較できない。
----------------------	-------------------------------------